

科目名	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I					単位	2.0
担当教員	吉田 みゆき						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	2	授業番号	2242

●授業のテーマ

精神障害リハビリテーションの概念と構成を理解する。

●到達目標

精神障害リハビリテーションの概念と構成を理解し、チーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割を説明できるようになる。

●学習内容(授業概要)

精神医療の特性と、精神障害者に対する支援の基本的考え方を学んだ上で、精神障害リハビリテーションの概念と構成、及び精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーションの知識・技術そしてその活用方法について理解する。それら一連の学びからチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割を考えていく。

●学習内容(授業計画)

1. わが国の精神保健医療福祉の歴史・動向
2. 諸外国の精神保健医療福祉制度の変遷（アメリカ・カナダ・イギリス）
3. 諸外国の精神保健医療福祉制度の変遷（イタリア・フランス・韓国）
4. 精神保健福祉士における活動の歴史
5. 精神障害者支援の理念
6. 精神保健医療福祉領域における支援対象
7. 精神障害者の人権
8. 精神障害リハビリテーションの概念
9. 精神障害リハビリテーションの構成と展開
10. 精神障害リハビリテーションの施設・関連領域
11. 精神障害リハビリテーションの関係機関・協力組織
12. リハビリテーション計画
13. アプローチの方法
14. 疾病の経過、ライフサイクルと精神障害リハビリテーション
15. 到達度テストとまとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業テーマについて予習をする。

毎回の授業の感想を提出する。

●成績評価方法・基準

到達度テスト 70%，提出課題 20%，出席 10%による総合評価。

●テキスト（必携）

新・精神保健福祉士養成講座 4 『精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ』第2版, [編集]日本精神保健福祉士協会, 中法法規出版.

* 販売先: 株式会社 Do

●参考文献／その他

随時紹介する.

●履修上の注意

精神保健福祉士国家試験受験資格課程履修者は, 「精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ」も必修である.